

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 サンウエーブ工業

上場取引所 東

コード番号 7993 URL <http://www.sunwave.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 織田 昌之助

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 熊澤 敏男

TEL 03-3518-4317

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	70,059	—	1,080	—	1,046	—	681	—
20年3月期第3四半期	72,671	△3.4	△95	—	△62	—	△1,863	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	14.17	—
20年3月期第3四半期	△38.73	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	68,950	32,511	32,511	32,511	47.2	676.12
20年3月期	69,174	32,159	32,159	32,159	46.5	668.45

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 32,511百万円 20年3月期 32,159百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	△5.4	900	—	790	—	450	—	9.35

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	50,396,500株	20年3月期	50,396,500株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	2,311,486株	20年3月期	2,285,674株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	48,098,425株	20年3月期第3四半期	48,124,437株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月14日に発表いたしました連結業績予想(通期)は本資料において修正しております。

2. 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）におけるわが国経済は、米国を起点とするサブプライムローンの破綻による世界経済の減速や金融危機の深刻化、株式市場の大幅な下落なども絡み、景況感は更に悪化しつつ推移いたしました。

住宅市場におきましては、新築住宅着工戸数は改正建築基準法の反動を受け、昨年7月からは前年比増で推移しておりましたが、この景気減速の影響から一転し減少する傾向にあります。

また、住宅設備機器市場は、この新築住宅着工戸数の伸び悩みと従来からのリフォーム需要の不振も加わり、販売環境が悪化し厳しい状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは「変革への挑戦」として、今年度より「販売」・「調達」・「開発・生産」・「業務」の全社横断的な4つの革新活動を推進しております。

商品面では平成20年5月に、主力商品である中級システムキッチン「サンヴァリエクピット」のモデルチェンジに続き、10月に小間口システムキッチン「サンファニーニクティオ」のモデルチェンジを行い上市いたしました。

また、4つの革新活動により、固定費の削減を中心に部品・部材のコストダウン等、全社的なトータルコストダウンに取り組み成果を得ることができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高700億5千9百万円、営業利益10億8千万円、経常利益10億4千6百万円、四半期純利益は6億8千1百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度比2億2千3百万円減少し689億5千万円となりました。主たる要因といたしましては、資産の部においては土地の売却を含む有形固定資産の減少30億4千万円、土地の売却収入により債権流動化を抑制したことによる未収入金の増加28億1千万円であります。負債の部においては、短期借入金の増加10億円、賞与引当金の減少6億9千7百万円、社債の償還、長期借入金の返済6億3千6百万円であります。純資産の部においては、利益剰余金の増加6億8千1百万円、繰延ヘッジ損益の減少2億4千1百万円であります。

これらの結果、自己資本比率は47.2%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績見通しにつきましては、昨今の経済動向から10億円程度の減収となる可能性が高いと予想しておりますが、コストダウンや固定費の圧縮といった諸施策の実行により、営業利益、経常利益は公表数値を維持出来ると見込んでおります。

ただし、当期純利益の段階においては、保有する有価証券等に評価損の発生が想定されることから、公表数値を従来の6億円から4億5千万円に修正いたします。

通期連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	92,000	900	790	600	12.47
今回修正予想（B）	91,000	900	790	450	9.35
増減額（B－A）	△1,000	－	－	△150	△3.12
増減率	△1.1	－	－	△25.0	△25.0
前期（平成20年3月期）実績	96,216	△600	△641	△3,068	△63.78

通期個別業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	85,000	800	700	560	11.64
今回修正予想（B）	84,000	800	700	420	8.73
増減額（B－A）	△1,000	－	－	△140	△2.91
増減率	△1.2	－	－	△25.0	△25.0
前期（平成20年3月期）実績	89,163	△796	△665	△3,005	△62.45

なお、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が会計基準適用初年度開始前のリース取引で、これらの会計基準等に基づき所有権移転外ファイナンス・リース取引と判定されたものについては、従来通り賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

③たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(追加情報)

当社の機械装置については、従来、耐用年数を4～13年としておりましたが第1四半期連結会計期間より4～11年に変更いたしました。

この変更は減価償却資産の耐用年数等に関する省令の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果に伴うものであります。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ24百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,143	6,975
受取手形及び売掛金	25,961	25,077
商品及び製品	2,055	1,795
仕掛品	328	424
原材料及び貯蔵品	1,944	1,532
繰延税金資産	365	603
その他	4,145	1,212
貸倒引当金	△16	△8
流動資産合計	40,927	37,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,919	7,223
機械装置及び運搬具（純額）	2,745	3,197
土地	10,096	12,638
その他（純額）	663	406
有形固定資産合計	20,425	23,466
無形固定資産		
ソフトウェア	1,111	1,312
その他	145	91
無形固定資産合計	1,256	1,404
投資その他の資産		
投資有価証券	1,172	1,275
繰延税金資産	1,554	1,565
その他	4,094	4,260
貸倒引当金	△480	△410
投資その他の資産合計	6,340	6,690
固定資産合計	28,023	31,561
資産合計	68,950	69,174

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,321	11,406
短期借入金	6,000	5,000
1年内償還予定の社債	625	330
1年内返済予定の長期借入金	282	352
未払法人税等	121	156
賞与引当金	302	1,000
特別クレーム補償引当金	168	292
その他	3,099	3,313
流動負債合計	21,919	21,851
固定負債		
社債	2,000	2,625
長期借入金	5,012	5,248
退職給付引当金	6,625	6,651
役員退職慰労引当金	8	8
製品保証引当金	590	598
その他	283	32
固定負債合計	14,520	15,163
負債合計	36,439	37,014
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,852	13,852
資本剰余金	12,464	12,464
利益剰余金	7,204	6,523
自己株式	△672	△668
株主資本合計	32,849	32,171
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△102	△17
繰延ヘッジ損益	△235	5
評価・換算差額等合計	△338	△12
純資産合計	32,511	32,159
負債純資産合計	68,950	69,174

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	70,059
売上原価	48,236
売上総利益	21,822
販売費及び一般管理費	20,742
営業利益	1,080
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	93
その他	242
営業外収益合計	342
営業外費用	
支払利息	194
売上割引	103
その他	78
営業外費用合計	376
経常利益	1,046
特別利益	
固定資産売却益	506
貸倒引当金戻入額	12
特別利益合計	519
特別損失	
固定資産除却損	291
投資有価証券評価損	2
ゴルフ会員権評価損	5
貸倒引当金繰入額	47
特別損失合計	346
税金等調整前四半期純利益	1,218
法人税、住民税及び事業税	101
法人税等調整額	435
法人税等合計	536
四半期純利益	681

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業損益の合計額及び資産の合計額に占める住宅設備関連事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額 (百万円)
I 売上高	72,671
II 売上原価	50,864
売上総利益	21,807
III 販売費及び一般管理費	21,903
営業損失	95
IV 営業外収益	446
1. 受取利息	5
2. 仕入割引	65
3. その他	374
V 営業外費用	413
1. 支払利息	88
2. 売上割引	107
3. その他	217
経常損失	62
VI 特別利益	48
VII 特別損失	1,600
税金等調整前四半期純損失	1,615
税金費用	248
四半期純損失	1,863

(2) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業損益の合計額及び資産の合計額に占める住宅設備関連事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。